

## 令和3年度富田林保健所病院連絡会結果（概要）

開催日時：12月8日 場所：富田林保健所 講堂

出席状況：別添参照

### 1 地域医療構想の推進に関する意見

- 少子高齢化の影響等で疾病構造の大きな変化が予測されることや新型コロナウイルス感染症のような不測の事態も踏まえて、厳密に病床数を決めていくのではなく、想定外のことが生じても対応できるよう幅を持った考え方をしていくべきではないか。
- 在宅で死を迎える患者が多くなることが予測され、訪問診療や遠隔診療を医療政策として進めていくべきと考える。地域医療構想の議論では、「病床」にフォーカスされており、訪問診療やITを利用した遠隔診療の議論が不足しているのではないか。
- 現在の地域医療構想の考え方では、新型コロナウイルス感染症のような有事の場合、何らかの病床を感染症対応に一時的に転換する必要があると考える。国では第8次医療計画の策定に向け、ワーキンググループで検討中とのことであるが、その情報は速やかにいただきたい。

### 2 病院の将来プランに対し意見のあった病院とその回答

#### (1) 公立・公的病院

- 意見なし。

#### (2) その他、民間病院等

##### ●大阪南医療センター：

- (PL 病院への意見) 少子化や医師の働き方改革の視点からもハイリスクケースの対応は地域の中でセンター化していくことが必要と考える。PL 病院の周産期母子医療センターの設立については、行政からも十分な支援をしていただきたい。
- (PL 病院の回答) 国は数を指摘するが、質の担保が重要と考える。現在緊急性の高い周産期、小児のケースについては、他圏域への搬送が必要であり、救命に影響を及ぼす。そのような観点から我が圏域に質の高い施設を置くことが必要と考えている。

## 令和3年度南河内病院連絡会結果（概要）

開催日時：12月10日 場所：藤井寺保健所

出席状況：別添参照

### 1 地域医療構想の推進に関する意見

○近畿大学病院の移転後の医療提供体制については、跡地に整備する病院の病床機能を踏まえる必要がある。

○行政から疾病構造の変化に応じた病床編成の案を提示していただけると、民間としては動きやすい。

### 2 病院の将来プランに対し意見のあった病院とその回答

#### （3） 公立・公的病院

##### ●市立藤井寺市民病院：

（事務局）回復期への転換を考えている地域包括ケア病床では、ポストアキュート機能とサブアキュート機能との割合はどのようになる予定か。

（病院の回答）藤井寺市あり方検討室において検討中であり、様々な調査結果を踏まえながら決めていく。

（事務局）公立病院が回復期病床へ転換する方向性について民間病院はどう考えるか。

（民間病院の意見）非常に厳しい経営状況にある公立病院に対して意見を言うことは難しい。

（民間病院の意見）市民病院というのは地域の医療を担うものであり、不足しているところに力を入れることについては間違ったことではなく、現状で藤井寺市民病院ができることをやればよい。

#### （4） その他、民間病院等

○意見なし